

03

現場の安全性向上

危険箇所の可視化

課題

広い工場では空調の効きが悪く気温が上がる箇所があるため熱中症の心配がある。

解決の流れ

- 1 現場作業者の体感で、ある程度温度が上がる場所を予測。
- 2 温度変化を定点測定し記録。特に温度の上がりやすい場所を特定する。
- 3 空調の設定と配置を見直し、熱中症のリスクが低くなった。

使用デバイス： 温・湿度検知デバイス ・温度、湿度及び気圧の変化を自動通知
解決度： ★★★★★☆

空気の状態を把握

課題

揮発性有機化合物や粉塵による環境(空気)の変化(悪化)は気づきにくい、作業者の体への影響が心配。

解決の流れ

- 1 空気中の成分変化で空気の状態変化がわかると推測。
- 2 空気中の成分を定点測定し変化を記録。影響を及ぼす作業を特定する。
- 3 適切に換気できるようになり、健康面での心配が緩和された。

使用デバイス： 空気状態測定デバイス ・PM2.5、VOCの簡易測定 ・相対的な変化を記録
解決度： ★★★★★☆

ルール遵守の確認

課題

安全機能が無い古い機械で作業する際、安全カバーが適切に使用されているかがわからない。

解決の流れ

- 1 作業手順が適切であれば、安全カバーが規則的に移動する点に着目。
- 2 安全カバーの動線(移動距離)を測定し自動で記録。
- 3 守られていないケースが発覚、再教育により事故を未然に防ぐことができた。

使用デバイス： 距離測定デバイス ・距離の変化を測定
解決度： ★★★★★☆

まずは やってみよう

[課題別] 簡易デバイス活用ガイド

CONTENTS

01 在庫管理の改善

- ・在庫量の可視化
- ・使用頻度の可視化
- ・保管場所の環境把握

02 調達プロセスの改善

- ・伝達の簡素化
- ・位置情報の共有
- ・在庫量の可視化

03 現場の安全性向上

- ・危険箇所の可視化
- ・空気の状態を把握
- ・ルール遵守の確認



北菱電興株式会社

【お問い合わせ・お申し込み】
TEL:076-275-8191 FAX:076-275-8190
E-mail:comind-sales@hokuryodenko.co.jp
担当:戸田・高森

01

在庫管理の改善

在庫量の可視化

課題

箱に入れて保管している在庫品は、外側から残量がわからないため減少に気づかないことがある。

解決の流れ

- 1 在庫量の減少=重さの減少、という点に着目。
- 2 設定した重さを下回ったら、発注担当者に自動通知される。
- 3 在庫量に気付く機会が増え、補給(発注)漏れが減った。

使用デバイス：重量検知デバイス ・重量の変化(精度±2kg)を自動通知 ・最大積載重量150kg
解決度：★★★★☆

使用頻度の可視化

課題

保管場所について、よく使うものを取り出しやすい場所に置きたいが、使用頻度がわからないためレイアウトの根拠を示すことができない。

解決の流れ

- 1 よく使う物=保管場所から離れる、という点に着目。
- 2 設定した距離より対象物が離れるたびに、自動で記録される。
- 3 使用頻度を示すことができ、保管場所の変更について合意が得られた。

使用デバイス：距離測定デバイス ・距離の変化を測定
解決度：★★★★☆

保管場所の環境把握

課題

外気温の影響などで倉庫内の温度が上昇し、保管品(接着剤など)が変質してしまった。

解決の流れ

- 1 時間や時期によって倉庫内の温度が大きく変わると推測。
- 2 対象箇所を定点観測し、倉庫内の温度変化を自動で記録。
- 3 温度上昇の時期がわかり空調設定のルールが改正された。

使用デバイス：温・湿度検知デバイス ・温度、湿度及び気圧の変化を自動通知
解決度：★★★★☆

02

調達プロセスの改善

伝達の簡素化

課題

材料の発注依頼を口頭で行っていたため、伝達漏れや発注漏れがしばしば発生していた。

解決の流れ

- 1 発注する材料は種類が決まっていることに着目。
- 2 材料ごとに2次元コードを準備し、読み込み～通知で伝達を行う。
- 3 伝達の時間ロスや記憶任せの悩みから解放された。

使用デバイス：2次元コードデバイス ・2次元コードを読み取り登録内容を通知
解決度：★★★★☆

位置情報の共有

課題

集荷予定時刻になってもトラックが到着しない場合、搬出口が荷物で塞がれたまま待つことになる。

解決の流れ

- 1 地点通過から到着時刻がおおよそわかることに着目。
- 2 トラックが、設定地点を通過したら自動で通知されるため荷物を準備する。
- 3 集荷待ちなどの無駄な時間や、搬出口でのトラブルが減った。

使用デバイス：GPS デバイス ・最短5分ごとに位置情報(緯度・経度)を記録 ・指定エリアへの出入りを通知
解決度：★★★★☆

在庫量の可視化

課題

関係会社からの突然の支給依頼に対し、在庫が不足していたため希望日に間に合わないことがある。

解決の流れ

- 1 関係会社内で支給依頼の目安となる在庫量があることに着目。
- 2 在庫減少による重量の変化を察知し自動で通知がくる。
- 3 双方での在庫管理により、適正な在庫量を維持できるようになった。

使用デバイス：重量検知デバイス ・重量の変化(精度±2kg)を自動通知 ・最大積載重量150kg
解決度：★★★★☆